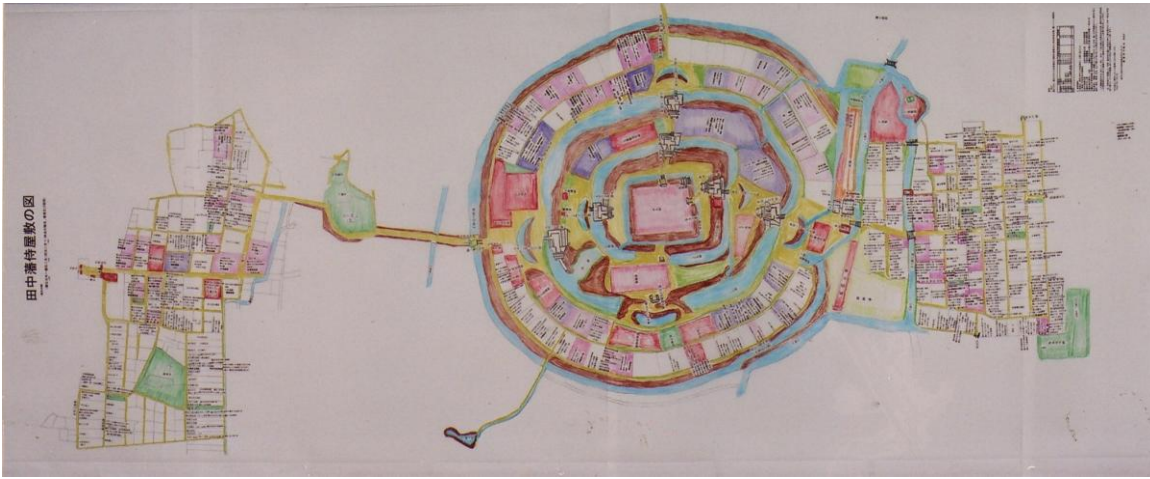




龜城

第1号

2010年
10月28日発行
田中城跡保勝会

編集文責
石川秀雄
藤枝市上当間
575-1
TEL643-0801

平成二十二年度 総会終わる



田中城跡保勝会
会長 池谷 圭次

平成二十二年度の「田中城跡保勝会」の定例総会が、五月九日(日)西益津公民館で行われました。来賓としては、市観光協会会長の江崎友次郎氏、市会議員の百瀬潔氏、市文化財課長の磯部武男氏、西益津公民館長の柴木定次氏らがお見えになりました。

田中城跡保勝会の活動を支援し、其の成果に期待

来賓を代表して、江崎氏に祝辞をお願い致しました。氏は一市観光協会の主な事業計画とその実施に当たっての協力を要請。

二各地の保存会、保勝会の活動状況と観光協会の支援。

三田中城跡保勝会の実り多い活動と会の益々の発展に期待。といった内容の話しをされました。

田中城史跡案内ボランティアとの合併

会議は、規約に基づいて、会長を議長として進められました。

- 一 平成二十一年度事業報告。
- 二 平成二十一年度決算報告。
- 三 監査報告。

右の報告を受けて、質疑討論の上、満場一致で承認されました。

- 四 平成二十二年度事業計画案。
 - 五 平成二十二年度収支予算案。
- の提案を受けて、審議を行いました。特に次の具体的な事業計画案について集中審議を行いました。

- ① あおい祭りへの協力・参加。
- ② 田中城ガイドブックの作成
小学生向けのガイドブックを作り、引き続き中学生向けも作る。
- ③ 田中城跡案内板の設置。
予算の関係から毎年一枚(七から八万円)宛て設置して行こう。
- ④ 田中城に関する古文書などの

展示会の開催。

- ⑤ 田中藩関係の史跡めぐり

昨年実施して大変好評だったので今年も実施したい。身近にある社・寺・石碑などなど余りにも知らなさすぎた、自信を持って案内できるように、現地での勉強を積みたい。

- ⑥ 田中城に関する資料の収集と其の活用。

- ⑦ 市内の各種保勝会、保存会等との連絡、協力。

- ⑧ 田中城ボランティアガイド育成事業。

保勝会の会員を中心にして現地でのガイド育成講座を実施する。座学では得られない貴重な体験で、生きたガイドとなる。

- ⑨ 田中城地図の増刷



田中城史跡案内ボランティアの事業を引き継ぐ

動議が出され、「田中城史跡案内ボランティア」の解散に伴う件について、質議と討論がなされた。次のようなことが確認されました。

- 一 「田中城史跡案内ボランティア」は解散し、「田中城跡保勝会」へ合流する
- 二 「田中城史跡案内ボランティア」と其の下部組織「田中城下屋敷保存会」が実施して来た
① 史跡田中城下屋敷の管理、運営事業
② 田中城跡の案内業務
③ 会報「亀城」の発行業務
但し、右の内②および③は本日より「田中城跡保勝会」が引き継ぎ実施する、
- ①の業務は、受託先の「ミューゼふじえだ」と「田中城下屋敷保存会」との契約終了後とする。
- 三 「田中城史跡案内ボランティア」との合併によって、会員が青島、藤枝、広幡と広範囲になった。そこで、この機会に西益津第一、第三自治会へも呼びか

け、旧西益津村全域を基盤とする「田中城跡保勝会」に発展させ会員の拡大をはかる。

新しい役員決まる

会長 池谷圭次

副会長 村越一彦・廣瀬邦行

理事 野田忠行・村松 巖

梅原圭司・梅原清二

監事 木野敬男・西ヶ谷雅男

会計 小田 隆

以上で、平成二十二年度の定例総会が無事終了いたしました。記念講演として「田中城物語」の講話を、池谷圭次氏にお願いし、有意義に終了いたしました。

伐採前の松と燈籠



「大松（鶴松）の伐採に寄せて」



田中城保勝会
理事 梅原 圭司

大手門に飄々と生きて、私達の心の拠り所として植えられていた鶴松も時代の流れで、交通安全の必要上伐採される事になりました。



平成二十二年九月六日、田中秋葉神社の大松「鶴松」が伐採されました。

それは、付近の交通安全確保という大義とはいえ、多くの方々の「もったいない」「何とか残せないものか」のご意見を尊重した結果、関係者での討議を重ねましたが、社会の要請を優先せざる得ないという結論に至ったからです。

私は、是を期にこの松の歴史を知ろうと調べてみましたが資料は多くは見つかりませんでした。

しかし、同時に「田中城に纏わる大樹」について多少なりとも知ることが出来て、強い関心を抱くようになりました。

そしてこの度知りえた範囲ではをピックアップして「鶴松」の資料として残したいと考えました。

多くの皆様のご指導、ご訂正、新情報を頂き、更に充実したものにしていきたいと思えます。

貴重な資料としていこうと考えた次第です。

○大松「鶴松」

現在のJA藤枝農協立花支店の近

くに、かつては、「松原木戸」があり初代の大松「鶴亀松」が田中城の目標として鬱蒼と茂っていました。

田中亀城クラブ創立二十周年記念事業(平成二年十二月九日発行)

のパンフレットに「田中城築城の際に植えられたという大松は、背

が高く鶴に似ているところから「鶴松」と呼ばれておりました、

この向かい側には背が低いが大松があり「亀松」として住民の人

達に親しまれておりました。

昭和六年六月十五日に枯れて伐採されました。

目道り 4 m 樹高 31 m

その後、二代目が植えられましたがすぐ枯れてしまいました。現在の木は三代目にあたります。こ

の木は大手の山口忠五郎氏屋敷から青年会の人達の手によって移植

されたものです。樹齢は約百二十年ぐらいたっています」

との記事がありました。

年輪は二百年まで数える事が出来たと記されており、芯の腐蝕分

を加えると樹齢三百年位で有ったと想像できます。

其の当時の大松に寄せる記事が、西益津小学校の学校新聞「立葵」

に載っていますので紹介します。

大松のさいご

尋常小学校 六年山口徳雄

昭和六年六月十五日のできごとだった。

僕等が学校から水を浴びてかえりに大松の所まで来ると大ぜいの

人々があつまっている、僕も大松のほうを見るともう半分以上切っ

ていた。

むこうも大ぜいの人々がいる、こつちにもいる、山の方にもいる。

僕等は、田のあぜを飛びながら

山の方へ行った。

そうするときかいがあった。

其の機械はたいそうがんにょうで、ふとい針金が大松の高い方に

ひちばりくくりつけてあってそれをきかいでひっぱるのである。

すると大松はしだいにころびやすくなるのである。

中略

僕らはきかいをいっしょうけん

めいにまやかした。

近くにいる人をどかしている

「あ、ころび始めた」途中で大松の枝が電気のせんとすれあった。

あぶない、でんきがとうつっている赤い火と青い火とが出た。

僕等は、死にものぐるいとなっ

て逃げたあとで見たら電話のせんが一つになつていた。よく朝ねん

りんをきいたらそのかずは二百以上だということだった。

鶴松

尋常小学校六年 後藤よし

この間私の家の近くにあった、

鶴松を切りました、其の鶴松というのはこの田中の本多様が植えた

のだそうだとおばあさんが言いました。ねんりんがいく周りもあつ

て数え切れませんでした。

どさんといった其の時、電気

の線に鶴松がさわったのでその所から火が出た。

鶴松に穴が開いていた、その所にすずめの子がいたり、「ごろちよ

う」のたまごがあったと切った人

が言っていた。

鶴松で舟をこしらへるさうです。

鶴松を切ったら秋葉さんのところが寂しくなった。

夏になると鶴松の下が涼しいので遠くから来た、葉屋さんや車を引

いた人々が鶴松の下で涼んでいったものでした、鶴松を切るのは惜しかった。

伐採された大松の根



秋葉神社境内に移植された、この松の樹齢は百数十年(山口家育成十定植後八十年)根回り三m一〇cmほどで、中心は腐食し大きな空洞が出来ていました。

時代背景は、初代は江戸時代から幕末を見て、廃藩置県後の田中城の移り行く有様をつぶさに観察し、映画の楠正成の舞台の背景となり、三代目は第二次世界大戦による日本の荒廃から近代化して行

く社会の中で、田中城保存の息吹を感じていたではないでしょうか。

今回の伐採で四代目をどうするかと議論がなされ、幸いにして「実生苗」を三本秋葉神社境内から発見され植木鉢に植え替え確保しましたが今年の異常な高温のため枯れて仕舞ました残念なことでした、来年発芽することを祈りたいと思います。

○田中城に纏わる大樹など

一 松

① 大慶寺「久遠の松」

藤枝一丁目

建長五年（一二五三年）

開祖 日蓮上人が比叡山へ遊学の帰途、この地に立ち寄り、茶店を営む夫婦「道円・妙円」に説法教化され、夫婦は自宅に法華堂を建立し当山の基を開きました其の折記念にうえられたお手植えの松、

「久遠の松」樹齢七百年、日本名松百選、県指定天然記念物

② 正定寺「本願の松」

藤枝二丁目

十四代藩主土岐頼稔が大坂城代になった時に植えられたと伝えられている。

松・市指定天然記念物

③ 旭殿院「大赤松」

焼津市保福島

山門は、田中城より移築したものとされている。

根回り五・五m

焼津市指定天然記念物

二 楠

① 月見里神社「大楠」

茶町

市指定天然記念物

② 須賀神社「大楠」

水守

市指定天然記念物

樹齢五百年

③ 藤井神社「御神木」

平島

静岡県神社庁の御神木指定

三 榎・イブキ

① 了善寺「大榎」

天王町

② 蓮生寺「イブキ」

本町

建久二年蓮生房（熊谷次郎直実）

から本願念仏の教えを詳しく聞き、家財をなげうって念仏道場を建てました。市指定天然記念物樹齢七百年

四 その他

残念ながら、現在は登録されていないが、記録、記憶に留めておきたい物語がある。

① 大井神社の大楠

田中二丁目

田中城の四の曲輪に（現在のスパーマムの駐車場南・藤枝小型自動車整備工場西）有ったと言われ、其処の御神木であった大楠で焼津の港に入るための目じるしとして漁業者から親しまれた楠でした、

時代は、豊臣秀吉によって天下統一がなされた時、朝鮮征伐の大義を抱き日本海を渡るために造艦令が発せられ、全国の海岸を持つ各藩に大型船二隻宛建造するように命令され、駿府城代官中村一氏の命令により伐採されたという物語がある。

② 妙法寺の御神木「大松」

市指定天然記念物

③ 勝退藪

八幡

徳川家康が田中城を攻略したとき旗幟にしたと言い伝えられている。

田中城に関する研究は、昔から多くの研究者の皆様が調査・研究されていますが、当時の風俗などに関しては限りがないものと思われる。

田中城跡保勝会では、今の内に（遅すぎたかも知れないが）広く情報を掘り下げ、記録に残して行

く事も主要な使命としております。どのような些細な情報でも結構です、振るってご提供して頂きたいくお待ちしています。

移動後の石燈籠



会員募集

“田中城跡保勝会員になり

ませんか歓迎いたします。”

城の案内ボランティアも募集しています。

毎月第二土曜日午後七時から西益津公民館で本会会長の郷土歴史家池谷圭次先生による講義があります。どなたでも気軽に参加ください。

申し込み方法

田中一丁目十一の一

電話〇五三・六四三・五八八四

事務局長 村松 巖